

14 柔道

1 期 日 令和元年8月6日（火）

2 会 場 新発田市カルチャーセンター
〒957-0054 新発田市本町4-16-83 TEL 0254-23-3050

3 日 程 5日（月）受付・予備計量 12時00分～
計量・柔道着点検 13時00分～15時00分（剣道場）
各県代表者会議 14時30分～（会議室）
監督会議 15時20分～15時45分（視聴覚室）
開会式 16時00分～16時30分（メインアリーナ）
練習会場開放 12時00分～17時00分（メインアリーナ・柔道場）
(メインアリーナは15:30～16:30は開会式に使用)
6日（火）開場 7時30分
審判会議 8時00分～8時20分（視聴覚室）
競技開始 団体戦 8時30分～10時10分
個人戦 10時20分～15時30分
★昼食時間は設けない。
閉会式 15時35分～16時00分

4 競技方法 (1) 団体戦 男子・女子とも10校によるトーナメント戦とする。
(2) 個人戦 男女とも8階級、各階級16名によるトーナメント戦とする。
(3) 試合時間 団体・個人戦ともに3分間とする。決着のつかない場合は、時間無制限のゴールデンスコア（以下はG S）の延長戦を行い、勝敗を決定する。
(4) 順位の決定について
団体戦トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
① チーム間の勝ち数による。
② ①において同等の場合は、内容（得点等）により決定する。
③ ②において同等の場合は、1名による代表戦により決定する。

5 競技規則 (1) 国際柔道連盟審判規定（2019年改正を含む）及び国内における「少年大会特別規定」による。
(2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。
①団体戦
ア 個々の試合においては勝ちの内容順を「一本」「技有」「僅差」とする。
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技有）が無い、又は同等の場合に「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。
イ 代表戦は任意の選手とし、勝敗基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合はG Sでの延長戦により勝敗を決する。延長戦による勝敗決定の方法は個人戦と同様とする。
ウ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。
②個人戦
ア 勝敗の判定基準は「一本」「技有」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。
得点差が無い場合はG Sでの延長戦により勝敗を決する。
イ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。

(3) 細部における同審判規定の運用上の申し合わせ事項は、全国中学校柔道大会の申し合わせ事項に準じて実施する。

6 参加規定

(1) 団体戦

- ①男女とも、各県2校とする。
- ②男子の1チームの人員は、監督1名・選手7名以内とし、5人戦とする。
　　女子の1チームの人員は、監督1名・選手4名以内とし、3人戦とする。
　　試合ごとに選手の位置を変えることはできない。
- ③チームの編成は、体重の最も重い者を大将とし以下順次体重順に編成する。
- ④有段者は、黒帯を用いること。(講道館から段位証書が交付された者)
- ⑤各県は、男女出場校の1位・2位の順位を明記すること。

(2) 個人戦

- ①男女とも、各階級各県3名、開催県4名とする。
- ②各県は1~3位まで、開催県は1~4位までの順位を明記すること。
- ③各階級及び体重区分

【男子】	ア	50kg級	50kg以下
	イ	55kg級	50kgを超えて55kg以下
	ウ	60kg級	55kgを超えて60kg以下
	エ	66kg級	60kgを超えて66kg以下
	オ	73kg級	66kgを超えて73kg以下
	カ	81kg級	73kgを超えて81kg以下
	キ	90kg級	81kgを超えて90kg以下
	ク	90kg級超	90kgを超える

【女子】	ア	40kg級	40kg以下
	イ	44kg級	40kgを超えて44kg以下
	ウ	48kg級	44kgを超えて48kg以下
	エ	52kg級	48kgを超えて52kg以下
	オ	57kg級	52kgを超えて57kg以下
	カ	63kg級	57kgを超えて63kg以下
	キ	70kg級	63kgを超えて70kg以下
	ク	70kg級超	70kgを超える

7 引率者及び監督

(1) 引率者・監督は、当該校の校長・教員・部活動指導員(※1)であること。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、所定の「部活動指導員確認書(校長承認書)」に必要事項を記入し、参加申込時に提出する。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。

※1 ここでいう部活動指導員は、学校教育法第78条の2に示されている者

(2) 大会では外部指導者(コーチ)を置くことができる。ただし、外部指導者(コーチ)は、出場校の校長が認めた者1名とし、指導者承認書(様式B)を参加申込時に提出する。

(3) 引率者の特例

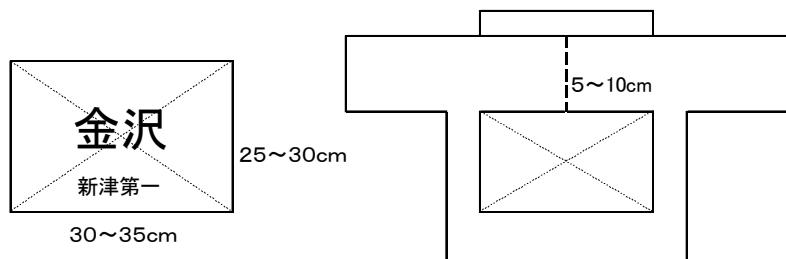
北信越中学校総合競技大会の個人種目への参加について、校長・教員が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「全国中学校体育大会引率者細則」に準じ、校長が引率者として承認した外部指導者の引率を認める。なお、当該校の校長は、北信越中学校総合競技大会引率者・監督者報告書(様式C)に必要事項を記入し、申込時に大会事務局に提出すること。

(4) 中学校教職員は他校の外部指導者(コーチ)になれない。また、同一人物が複数校の外部指導者に(コーチ)になれない。

8 柔道衣点検

(1) 下記基準に基づいて、柔道着点検を実施する。

- ①(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿き・帯)を着用すること。(赤色マーキングのもの)
- ②柔道衣には必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。(必ず対角線にも縫ってあること)ゼッケンには学校名を記入すること。(学校名には中をつけても良い)



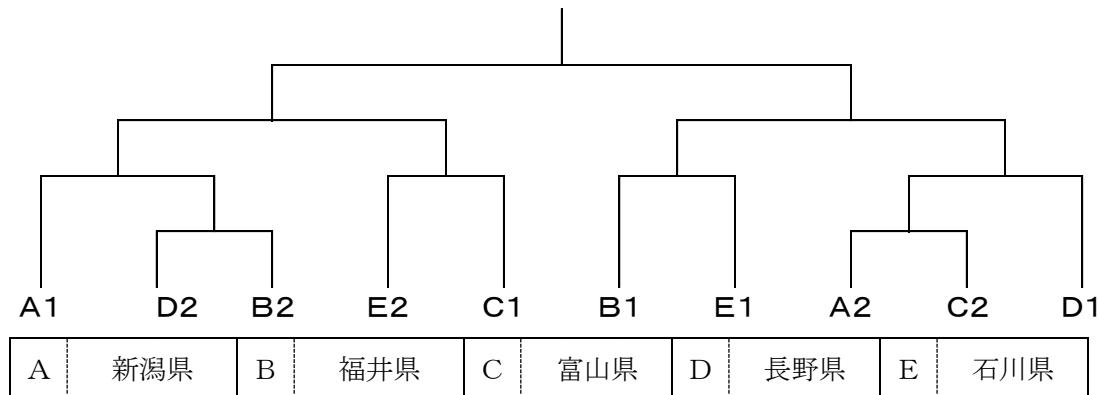
- ③胸マーキング等について、道場名は不可とする。サイズは規定に準ずる。
- ④女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。Tシャツのマーキングについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規定(2013.4.1より施行)に準ずる。
- ⑤女子の帯については、男子同様とする。
- ⑥柔道衣点検の際は、試合時に着けるサポーター等を着用し点検を受けること

9 表彰

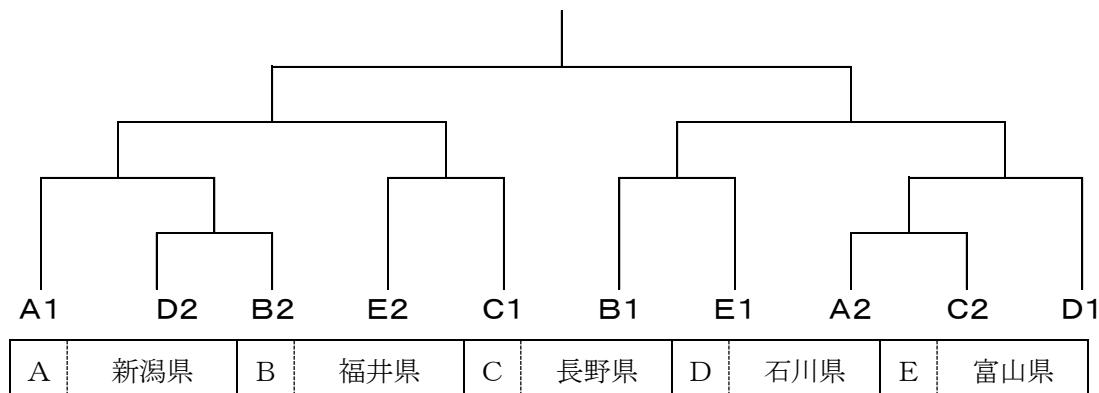
大会実施要項の規定により表彰する。

10 組合せ

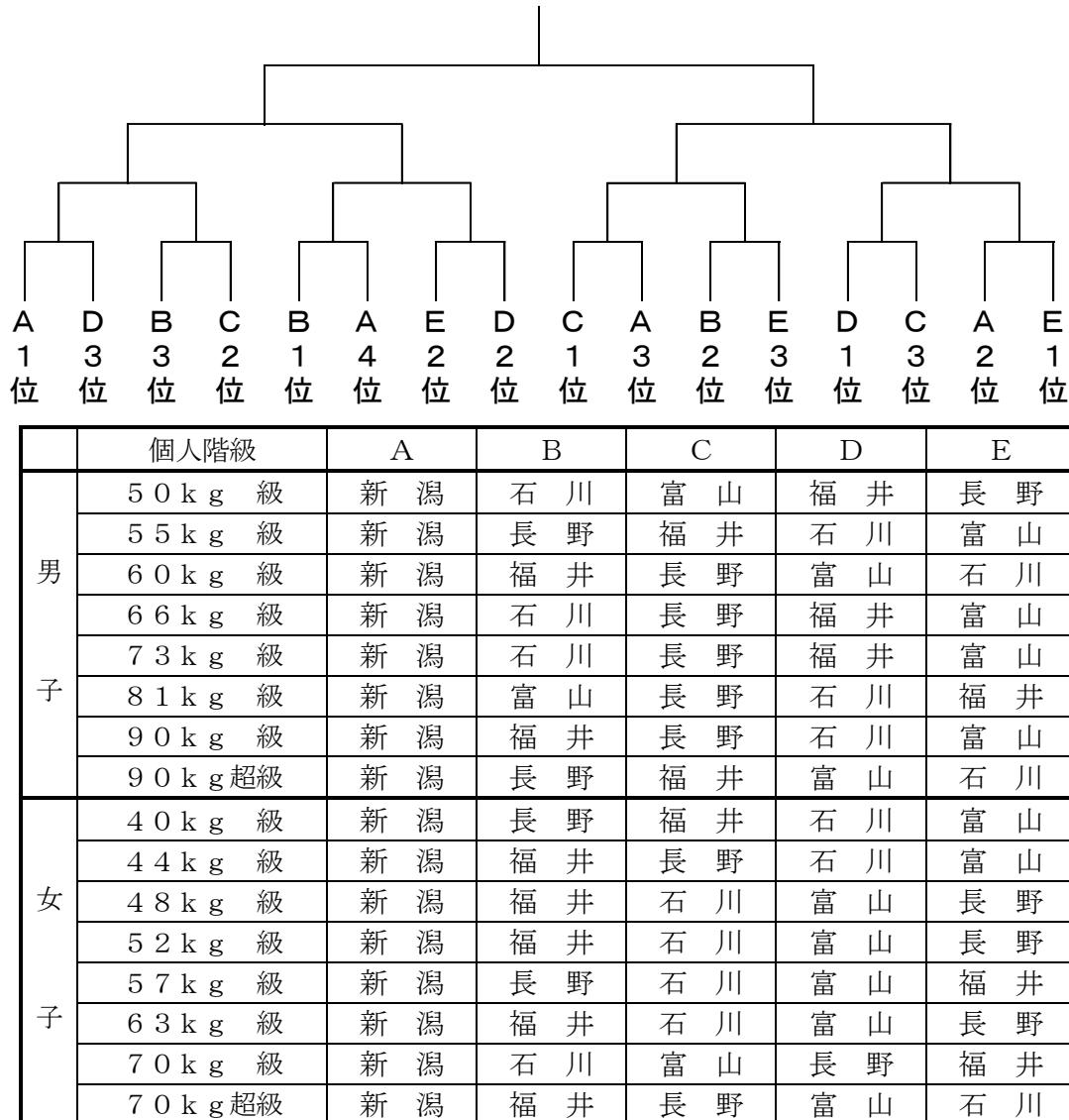
(1) 団体戦《男子》



(2) 団体戦《女子》



(3) 個人戦《男女》



11 その他

(1) 各県から派遣審判員3名（委員長も可）を選出し、審判にあたる。

(2) 選手変更について

①団体戦

ア 大会申込書提出後、選手の諸事情等で選手変更を必要とする場合は、所定の変更届に必要事項を記入の上、当該校の校長から理由書を添えて提出すること。

イ アによる変更届は、大会開会式前日までに当該県の専門委員長が大会本部に提出すること。

ウ 試合当日は、登録選手の交代のみとし、その場合は体重順に編成替えをすること。交代する選手が既に登録している選手と同体重の場合は、監督判断で交代する選手の順番を決定し、入れることができる。